

講義名	教養基礎（地理）		
科目区分	教養科目		
担当教員	秦 洋二		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

本講義では、地理学に関する基礎知識を習得し、現代社会を地理学的視点から分析する力を養うことを目的としています。細かい地名や地域の特産品を覚えることは、この講義が目指すところに対してさほど重要な意味を持ちません（全く無駄とまでは言いませんが）。地理学は、我々の生活に影響を及ぼしている時間・空間的諸関係を解明し、人間社会をよりよく理解するための方法の一つです。身の回りのことはもちろん、世界中で起きている、自分の目では直接見ることができない事象も広く講義で取り上げます。講義に登場する様々な題材をもとに、地理学的なものの見方を学んでください。

到達目標

- ・現代社会の基礎的な知識をもとに、地理学的思考を行うことができる
- ・社会現象を地理学的視点から見るることができる。

提出課題

必要な場合適宜指示をします。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

授業中に解説を行う。

評価の基準

中間レポート50%、学期末試験50%
 中間レポート未提出の場合は単位の取得を認めません。

履修にあたっての注意・助言他

講義中の私語は厳禁です。

教科書
・使用しません。

プリント資料及び参考文献

- ・毎回プリント資料を配布します。参考文献は、適宜紹介します。
- ・できれば地図帳（高等学校用のもので可）を持参してください。

- 授業計画**
- 1 カイダンス
 - 2 地図の世界
 - 3 国家と国際問題
 - 4 世界の民族と民族問題
 - 5 人口転換と人口問題
 - 6 商業立地①
 - 7 商業立地②
 - 8 農業立地・工業立地
 - 9 商業の変化
 - 10 観光の地理
 - 11 環境問題を考える
 - 12 兵庫県在地誌
 - 13 フードデザート問題
 - 14 交通の地理
 - 15 まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：日頃からニュースや新聞に目を通し、講義テーマに関連する予備知識を得ること（1～2時間程度）
 復習：講義資料を復習すること。その際、講義で取り上げた地域・場所について地図帳などで位置を確認することが望ましい（1～2時間）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

受講人数等を勘案して内容の一部を変更することもあります。その場合は講義中に指示をします。